

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助	その他補助	開始時期	平成29年4月1日	終期	平成32年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	農業近代化資金等利子補給金 農業近代化資金の借入者に対し、県、市が利子補給を行うことによって、農業者の金利負担の軽減を図り、その資本装備の高度化等農業経営の近代化に資する。							
款・項・目	農林水産業費・農業費・農業総務費							
所属等	農林水産部 農林政策課 担い手育成室					電話 025-226-1768		

年 度		平成29年度（1年目）	平成30年度（2年目）	令和元年度（3年目）
予算額等の推移	予算(千円)	103	87	15
	決算(千円)	65	49	15
補 助 率		貸付利率による	貸付利率による	貸付利率による
目 標		農業者の機械・施設整備の近代化を支援する。 <目標が数値でない場合の評価方法> 借入者の返済状況を調査し、それをもって目標達成度の評価とする。		
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上	—	—	—
	達成率 80%以上	—	—	—
	達成率 50%以上	—	—	—
	達成率 50%未満	—	—	—
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	毎年度の実績報告をもって返済状況の確認とし、その結果、以下のとおり農業者の機械・施設整備の近代化を支援した。 利子補給件数 4件 利子補給額 65千円	毎年度の実績報告をもって返済状況の確認とし、その結果、以下のとおり農業者の機械・施設整備の近代化を支援した。 利子補給件数 4件 利子補給額 49千円	毎年度の実績報告をもって返済状況の確認とし、農業者の機械・施設整備の近代化を支援する。
補助事業者による情報の公表		決算資料		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 当該資金の貸付利率に応じた利子助成のため。 <g～hにおける取組> 当該資金の貸付利率に応じた利子助成のため。			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
	① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 農業者の施設・機械整備の近代化を推進するため、今後も低利資金の融通を図る必要がある。				